

はじめに

院内避難訓練は、透析に特化していないため実際の避難行動をイメージする事が難しい。

他職種と協働したアクションカード(AC)を作成しシナリオに沿った読み合せをすることで避難行動への理解を深める。

これにより患者避難誘導がイメージでき、安全に避難出来る事を目的とした取り組みを検討した。



方法

1. スタッフ25名(看護師12名・臨床工学技士12名
クラーク1名)へ、アンケート(前)を配布。
2. アンケート(前)を参考に、ACを改良。
3. 改良後のACを使用し2週間読み合せを実施。
4. アンケート(後)を配布し回収後、単純集計し評価。

倫理に関しては当院の看護部倫理審査の承認を得る。

看護師AC

改良前

改良後

担当：看護師責任者 地震発生時の対応

1.自身の安全の確保と自部署の安全の確認をせよ

- ☐患者・患者家族・スタッフの負傷の有無
- ☐センター内の建物の破損・崩壊・火災等二次災害の発生の有無
- ☐ME責任者と情報共有

2.本部への報告・病院全体の災害状況を確認せよ

- ☐災害対策本部へ災害被害状況を報告、指示を確認
- ☐災害対策本部からの情報、方針を基に医師、ME責任者と情報の共有
- ☐医師、ME責任者と透析の継続・中止、避難方法を相談する

3.スタッフへ状況の報告と指揮命令を開始せよ

- ☐方針の決定をスタッフへ指示を出す
 - ・避難指示が出た場合は避難マニュアルに沿って、返血避難または緊急避難の指示を出す
- ☐クラーク・リーターに離脱完了した独歩患者の避難誘導の指示を出す
- ☐スタッフ全員に護送・担送患者の避難誘導指示を出す
- ☐全患者・スタッフが避難した事を確認し、自分が避難する

4.避難終了後に自部署の避難状況、患者・患者家族・スタッフ・被災状況の確認をせよ

5.避難終了後に自部署の避難状況、患者・患者家族・スタッフ・被災状況を災害対策本部へ報告せよ

看護師責任者

まずは自身の安全を確保して！！

1 自部署の安全確認・ME責任者と情報共有

2 本部への報告・病院全体の被災状況の確認

3 スタッフへ状況の報告と指揮命令開始

4 避難終了後に自部署の避難・被災状況の確認

5 災害対策本部へ報告

看護師責任者

状況確認

①自部署の安全確認

・人数把握

医師	人	臨床工学技士	人
看護師	人	クラーク	人
外来患者	人	担送	人
		独歩	人
入院患者	人	担送	人
		独歩	人
患者家族	人		

・負傷状況

スタッフ	人
被害あり	人
患者・他	人
被害あり	人
ME情報共有	

・壁・天井・床・窓・扉などの破損

②災害被災状況を災害対策本部へ報告、指示確認

③指揮命令開始

④被災状況を確認

⑤避難確認後災害対策本部へ報告

臨床工学技士AC

担当：ME責任者

地震発生時の対応

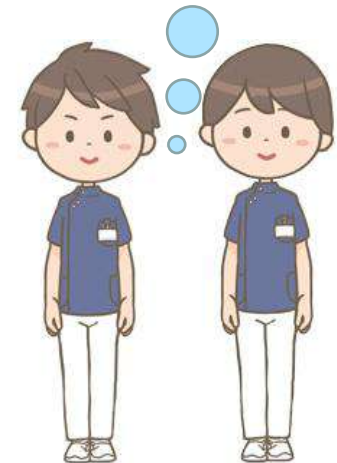
1. 自身の安全の確保と自部署の安全の確認をせよ
☐ センター内の機器の破損・崩壊・二次災害の発生の有無
☐ 患者・スタッフ負傷者の被災確認する
☐ 看護師責任者と情報共有
2. 各担当者へ詳細行動を促す
☐ 被災時センター内にいるスタッフを確認し各担当者にアクションカードに沿った行動を促す
☐ 緊急カテなどで不在の場合は代わりを立てる
3. 各担当者から被災情報を収集せよ
☐ 各担当者より各現場の被災状況を確認する
4. 看護師責任者と共に災害対策本部へ報告せよ
☐ 災害対策本部へ行き院内被災状況を確認をする
☐ 治療継続の有無を医師と相談する
☐ 避難指示が出た場合は、スタッフ全員に避難誘導指示を出す
☐ 全患者・スタッフが避難したことを確認し自分が避難する
6. 避難終了後各スタッフ・患者の避難状況を確認し看護師責任者と共に災害対策本部に報告せよ

災害が起きたらまず身の安全！

M E 現場最上位職

- 1 血液浄化センター内の機器・患者の被災確認
- ↓
- 2 各担当者へ各行動を促す
- ↓
- 3 各担当者からの被災情報収集
- ↓
- 4 課長と共に院内災害対策本部へ
- ↓
- 5 災害対策本部からの情報を基に各担当者へ指示

新たに作成
したよ！



シナリオ

地震発生時の避難訓練の読み合わせをします。
地震が発生し、緊急離脱して避難する設定です。
全員アクションカードに沿って行動してください。

まずは自身の安全を確保します。

<責任者>

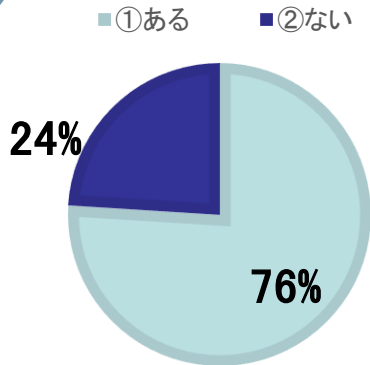
1. **自身の安全の確保と自部署の安全の確認をします**
 - ・ 患者、患者家族、スタッフの負傷の有無の確認
 - ・ センター内の建物の破壊、崩壊、火災等二次災害の発生確認
 - ・ ME責任者と情報共有
2. **本部への報告・病院全体の災害状況を確認します**
 - ・ 災害対策本部へ災害被害状況を報告し指示確認
 - ・ 災害対策本部からの情報、方針を基に医師、ME責任者と情報の共有
 - ・ 医師、ME責任者と透析の継続、中止、避難方法を相談
3. **スタッフへ状況の報告と指示命令を開始します**
 - ・ 方針の決定をスタッフへ指示を出す（避難指示のため離脱マニュアルに沿って、返血離脱または、緊急離脱の指示を出す）
 - ・ クラーク、リーダーに離脱完了した独歩患者の避難誘導の指示を出す
 - ・ スタッフ全員の護送、担送患者の避難誘導指示を出す
 - ・ 全患者、スタッフが避難したことを確認し、自分が避難する
4. **避難終了後に避難集集場所自部署の避難状況と被災状況の確認をします**
5. **避難終了後に自部署の避難状況と被災状況を災害対策本部へ報告をします**

読み合せ



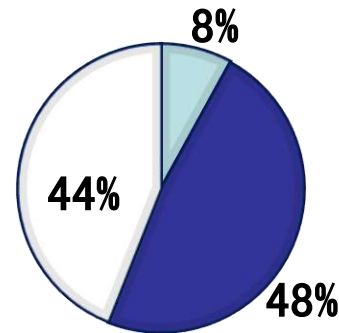
地震被災に関するアンケート結果

院内の避難訓練に参加したことはありますか



院内の避難訓練で実際の災害時に行動できると思いますか

■①思う ■②どちらでもない ■③思わない

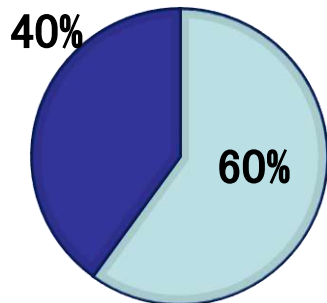


- ①想定外の事態でなければ訓練できる
- ②センター内での被災訓練経験がないためイメージできない
参加したことがない
訓練の内容と災害時の状況が同じと限ない
- ③自分の役割分担がよくわからない
定期的の実施しないと忘れてしまう
透析室に特化した訓練でない
参加人数も少なく緊張感がない

血液浄化センターのアクションカードを見たことがありますか

改良前

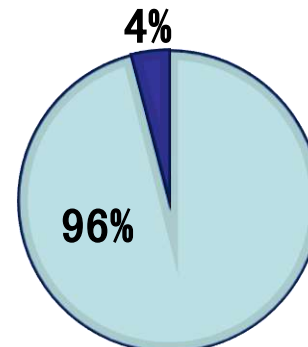
■①ある ■②ない



- ①災害時に使用するものなので目を通した
避難訓練時に見るようにしている
作成時に確認した
- ②避難訓練をあまりやらないため
気にしていない
今回初めて見た

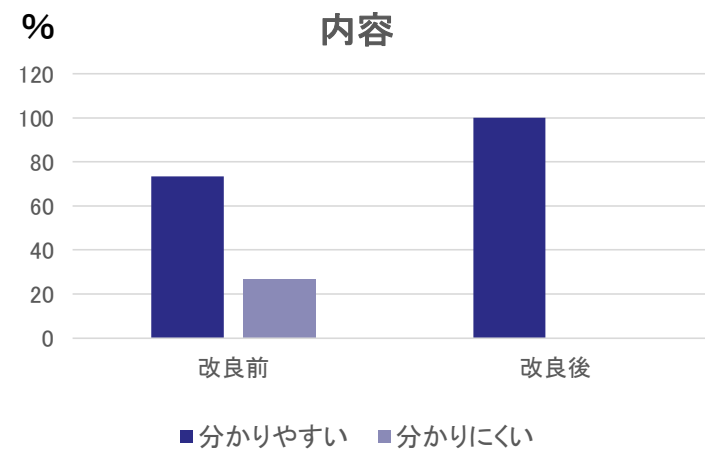
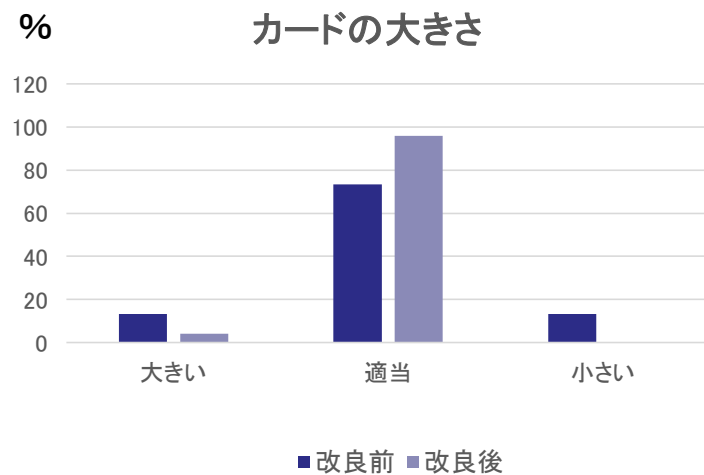
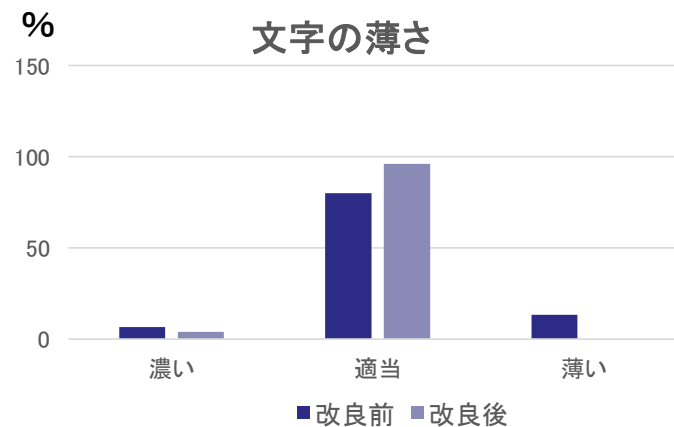
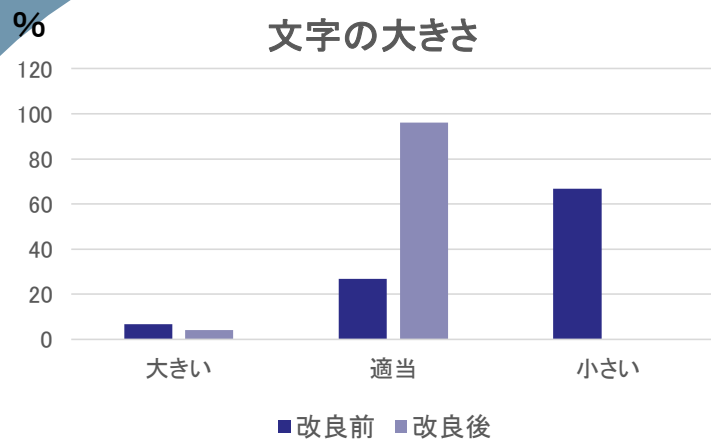
改良後

■①ある ■②ない



- ①看研護究班が修正、作成したため
見ておいたほうが安心
興味があった
自分の行動を確認するため
事業継続計画に沿っているか確認するため
- ②どこにあるのかわからない

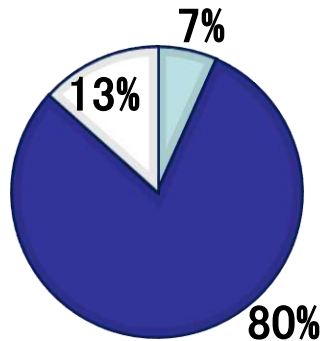
アクションカードは見やすいと思いますか



アクションカードは自分の行動がイメージできますか

改良前

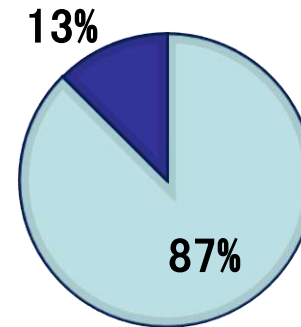
■①出来る ■②どちらでもない
□③できない



- ①日常業務となっている
具体的に記載されている
- ②全体の流れがよく分からない
実際に使用したことがない
具体的な内容でない
緊急離脱方法が分からない
- ③内容が分かりにくく、一目で
把握できない
細かすぎてすぐに判断できない
MEとの協働した内容でないため
動きが分からない

改良後

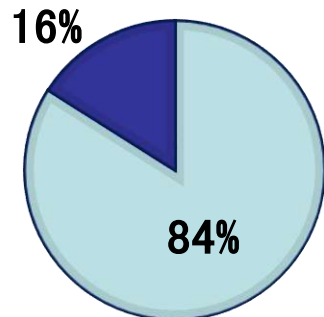
■①出来る ■②どちらでもない
□③できない



- ①読み合わせ実施によりイメージ出来た
具体的、簡潔に記載されている
役割がはっきりしている
- ②流れは分かりやすいが具体的な訓練を
行くとさらに分かりやすい
全体の流れが分かりにくい
- ③やらないと分からない

読み合わせに参加しましたか

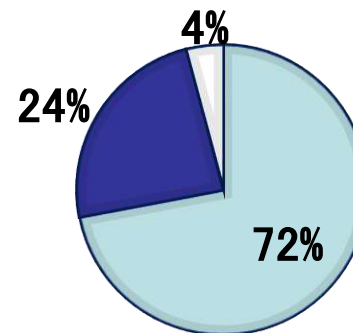
■①参加した ■②参加していない



- ①カードをただけでは被災時の自分
と他スタッフの行動が分からない
- ②慣れておき全体の動きを周知する
ため
- ③業務が抜けられず時間が無かった

読み合わせをしたことで自分の行動がイメージできましたか

■①できた ■②どちらでもない □③できない

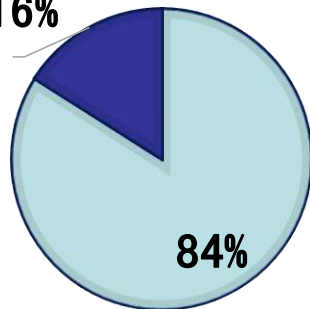


- ①自分の役割が明確になった
声を出すことで自分のことでなくても
再確認できる
具体的に書いてあるのでイメージ
しやすい
- ②できた部分もあるがリアリティーに
欠ける
- ③参加していないため分からない

読み合わせは有効だと思いますか

■①思う ■②どちらでもない ■③思わない

16%

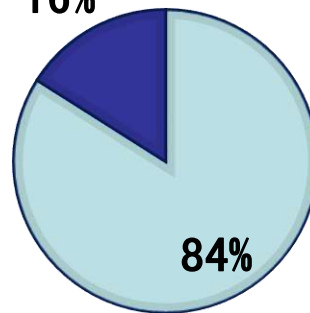


- ①共通の認識が高まる
一連の流れが把握できる
いろいろな役割を読み合わせる
ことで自分と他スタッフの行動
が分かりやすい
- ②参加していないため分からない

読み合わせは定期的に実施したほうが良いと思いますか

■①思う ■②どちらでもない ■③思わない

16%

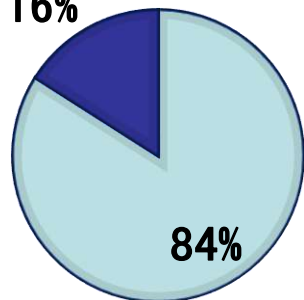


- ①間が空くと忘れてしまう
記憶が薄れていく
数回実施ただけでは読むことに一生懸命で
覚えられない
- ②仕事が忙しいため
参加していないため

今後読み合わせのあとリハーサルをすることは有効だと思いますか

■①思う ■②どちらでもない ■③思わない

16%

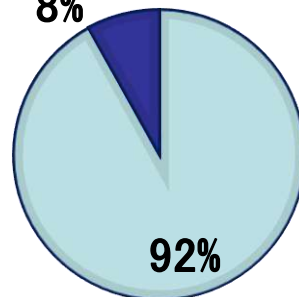


- ①行動レベルで理解できる
有事の時の行動がより具体的に
分かりそう
実際に体をうごかしたほうがイメージ
しやすい
実際に行動することで発見や見直し
ができる
- ②よく分からない
読み合わせに参加していないため
- ③仕事が忙しいため

血液浄化センターでの避難訓練は必要だと思いますか

■①思う ■②どちらでもない ■③思わない

8%

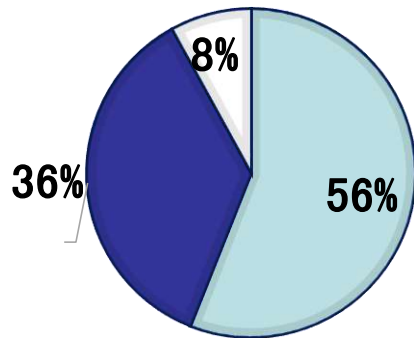


- ①行動の再確認が必要
自分の役割、行動が分からない
他部署と異なる作業があるため実際の訓練より
時間がかかる
いつ起こるかわからないのでシミュレーション
が必要
災害時に訓練していないとスムーズに動けない
患者、スタッフの行動の訓練が必要
実際の災害時に早急に対応できるようにするため
- ②避難訓練マニュアルに沿って行動すればいい

血液浄化センターでの災害時の避難行動に不安がありますか

読み合わせ前

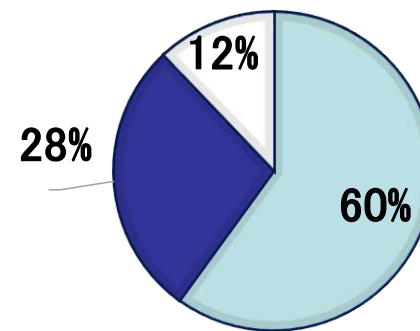
■①思う ■②どちらでもない ■③思わない



- ①センターでの訓練をしていないため自分の役割が分からない
透析中の離脱等がスムーズにできるか自信がない
移送方法や誘導するのがだれかが明確でない
MEの役割が明確でないため連携がとれない
- ②緊急離脱が患者の重症度により時間がかかるので不安
緊急時の対応の訓練をしていない
具体的な行動が分からない
- ③災害を経験しているため

読み合わせ後

■①思う ■②どちらでもない ■③思わない



- ①読み合わせ通りに行動できるか実際の避難行動を実施していない
予定通りにいかないため他職種との協力体制や個々の行動が適切かどうか不安
- ③日頃から非常時のことをイメージして仕事をしているため

考察

アンケート結果をもとに、他職種と協働したACに改良し、役割が明確となった。

更に読み合わせを実施した事で避難行動のイメージが出来たと考える。災害に対する不安が減少しなかった事は災害に対する意識、理解が深まり、不安が具体化したためと考える。不安を異常ととらえず、災害対策の訓練を重ねていくことにより、適応を促進していく必要がある。さらにリハーサル、実訓練へとつなげていき、継続発展させた訓練を実施していく必要があると考える。

結論

1. ACを改良し読み合せを行うことで行動がイメージでき災害に対する意識が高まった
2. 避難行動の不安は今回の取り組みだけでは軽減されなかった
3. 今後もACの見直し、読み合せを継続する必要がある
4. さらにシナリオを用いたリハーサル、実訓練を実施する必要がある



第54回茨城人工透析談話会
COI開示
筆頭発表者名: 桑原 昌子

演題発表に関連し、開示すべきCOI
関係にある企業などはありません。